



☆国民と自衛隊とのかけ橋
☆会員と関係者との親睦と情報交換

隊友よこはま南

第46号

2022年3月15日

公益社団法人隊友会
横浜南支部
責任者 五島浩司

雨垂れ石を穿つ

横浜南支部長 五島浩司

今年の正月の6日には珍しく横浜で雪が積りました。現役時代に舞鶴、大湊、函館での勤務経験があった私は雪かき、雪道の歩き方、水道管の水抜き、トイレの凍結防止、凍結路面の運転など寒冷地対策は一通り理解しているつもりでいました。正直なところ横浜の雪など大したことないとお断していたのです。積雪と言ってもほんの僅かで、この程度ならノーマルタイヤでも大丈夫と考へ、買い物のためにマンションの駐車場を出てすぐの坂道で冷や汗をかく羽目になりました。上り坂でタイヤは空転、ハンドルも効かず、恐る恐るそのままバックして何とか駐車場へ戻ることができました。積雪地方で勤務した方からは「元自衛官が何をやってるんだ」とお叱りを受けるような軽率な行動でした。横浜は殆ど雪が降らず、滅多に積もることもないので、冬場にスタッドレスタイヤへ変える人は少なく、チェーンのつけ方に慣れていない人も多いためです。積雪地方で勤務した元自衛官であれば、たとえお節介と思われようが雪に慣れていない人に注意喚起する側の立場であったと新年早々から大いに反省することになってしまいました。

その日は夜になっても雪が降り続け、翌朝は更に冷え込み、早朝から出かける妻には防寒対策と滑りにくい靴を履き、手袋をはめるように言いました。すると出かけて間もない妻から同じマンションにお住まいの私の先輩がエントランス付近で雪かきをしていると連絡がありました。すぐに駆けつけてみるとエントランス前の道路やゴミステーション付近は夜間積もった雪が凍結し滑りやすく危険な状態になっていました。先輩は早朝からたった一人で、ゴミ出しをするマンション住人やマンション前の坂道を下る人が転ばないようにとカチカチに固まった氷をスコップで砕いていたのです。話を聞くと、先輩は前日から翌朝の雪かきを決心し、管理人にスコップなどの雪かき道具をエントランスに集積しておくよう依頼していたとのことでした。前日の私の軽率な行動とはまさに真逆の行動でした。遅ればせながら私も凍結した氷を剥がす作業に加えて頂きました。作業中には何人か足を滑らせる方もいましたが、小学生が通学する時間までには、何とか歩ける状況にすることができました。この行動に気付かない人は大勢いたと思いますが、先輩の行動で怪我をせずに済んだ人も少なくなかった筈です。その先輩は自衛隊定年退職後にカウンセラーの各種資格を取得され、今でも現役自衛隊員の心のケアをされています。また、マンションの組合の会長も務められ、住民のために色々お骨折れも頂いています。勿論、横浜南支部の会員で、お見掛けする度に「支部長、お疲れ様！いつも新聞を楽しみにしているよ。」とお声を掛けて頂いています。

ご承知のとおり、隊友会は国民と自衛隊のかけ橋となることを目的として各種事業に取り組んでいます。数年前、当支部も横浜市と防災協定を締結し、大規模災害発生時には自衛隊での経験を活かして自治体の活動に有益な情報を提供することになりました。また、災害派遣に出動する隊員が横浜にお住まいのご家族と連絡が取れない場合に、隊員に代わってご家族の安否を確認するという部隊との協定も結びました。確かに、このように何十年に一度の大規模災害に備えることも非常に大切ですが、この先輩のような平素からの日常活動こそが国民の理解や信頼を得る基盤、すなわち「かけ橋」で言えば、橋を支える「橋脚」の部分になるのだと思います。

私が通った小学校の教室の正面に「雨垂れ石を穿つ」の横書きの書が掲げられています。当時の私は、右から左に書かれている書も不思議でしたし、「穿つ」の読み方も、当然その意味も全く分からず、先生に教えてもらったことを思い出しました。これまで頭の中では「雨垂れ石を穿つ」を理解してきたつもりでしたが、この先輩のお陰でその言葉をより身近なものとして感じる事ができました。コロナで各種イベントが実施できない今こそ、私達一人一人の一粒一粒の雨垂れのよいうな行動が求められるのだと思います。未だ自衛隊を憲法違反だと主張する人、憲法に自衛隊を明記することに反対する人は少なくありませんし、これに即効性のある特効薬など存在しません。会員一人一人の地道な活動の積み重ねによって、より良い方向に進んでくれることを切に望みます。若輩者の私が支部長を拝命して6年になりますが、私の力不足で何一つ目立った成果を上げることは出来ていません。しかし松岡会長をはじめとする県本部の皆様、横浜南支部の役員の皆様、そして大勢の会員の皆様に支えて頂き、大過なく、楽しく活動することができました。あらためて心からお礼申し上げます。コロナはまだ先は見通せませんが、会員の皆様にはくれぐれもご自愛の上、引き続きご理解、ご協力のほど宜しくお願い致します。

支部総会のお知らせ

新型コロナウイルス感染症は年頭からオミクロン株により感染者数が増加の傾向にあり、未だ明確な終息の兆しが見られません。このような状況にありますが、当支部の令和4年度定期総会を以下のとおり開催することと致しました。

日時：令和4年4月16日（土）

1400～1530

場所：ウイリング横浜9階（上大岡）

しかし、感染状況の好転が見られない場合においては、通常形式での総会実施には大きなリスクが伴うため、昨年度同様、本紙掲載の総会各議案について会員の皆様から同封の返信葉書等にてご意見を頂戴した上で、これを踏まえて理事役により審議・採決させて頂くことと致します。

なお、その際は神奈川県隊友会ホームページに掲載するとともに、総会への参加通知を頂いた会員の皆様にはご連絡させて頂きます。皆様には大変ご迷惑をお掛けしますが、何卒ご理解頂きたくお願い致します。

一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と会員の皆様のご健康をお祈りいたします。

支部長 五島浩司

令和4年度
横浜南支部運営計画（案）

1 方針

隊友会横浜南支部は、地域市民と自衛隊の架け橋として自衛隊を支援しつつ地域社会に積極的に貢献する。

この際、大規模災害対処に関し自衛隊及び地域社会との連携に努める。

また、あわせて支部会員相互の親睦を図る。

2 重視事項

- (1) 自衛隊と国民の架け橋として、自衛隊の諸活動を支援するとともに広く国民の防衛意識の高揚を図る。
- (2) 国民保護に係わる研究や訓練参加を通じ地域社会への貢献を図る。特に大規模災害対処における自衛隊の部隊及び横浜市との連携を強化する。
- (3) 自衛隊及び友好諸団体が実施する行事等に積極的に参加し、相互理解を深める
- (4) 会員の増勢に努め、支部の活性化を図る。
- (5) 機関紙の手配りを推進する。
- (6) 予備自衛官招集訓練時、武山駐屯地等を訪問し、予備自会員の募集を図る。

3

主な行事予定表のとおり。

令和4年度隊友会横浜南支部行事予定表（案）

区分	1/4			2/4			3/4			4/4		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自衛隊		富士総合火力演習						自衛隊音楽まつり・観艦式				
本部				地域代表世話人会						空挺部隊訓練 始め研修	4 県防災園演習	5 県音楽まつり
県本部		秀親発行 14 県理事役会	12 県総会	2 安全防災部会	横須賀防衛講座 10 ビッグレスキュー	県理事役会	特別会員等 部隊研修旅行		10 県理事役会 防衛講演会	13 合同賀詞交歓会	25 県理事役会	2 安全防災部会
支部計画	16 支部総会		機関紙「一筆啓上」 発行	部隊研修	暑気払い	理事役会	支部旅行 機関紙発行	防衛講演会準備	理事役会	忘年会	部隊説明会 (横浜駐屯地)	機関紙発行
業務	総会準備 「隊友」発送	「隊友」発送	「隊友」発送	「隊友」発送	「隊友」発送	「隊友」発送	「隊友」発送	「隊友」発送	「隊友」発送	「隊友」発送	「隊友」発送	「隊友」発送
		機関紙編集				機関紙編集					機関紙編集	
						部隊激励訪問・会勢拡充活動・会費納入奨励						
						部隊行事・関係諸団体行事・講演会等参加						

令和4年度横浜南支部役員(案)

支部長	★田原 昭彦	理事役	山中 才司
副支部長(事務局長)	渡邊 智弘	理事役	遠渡 俊男
副支部長	洞澤 佳廣	理事役(事務局)	濱田 正徳
副支部長	石橋 啓志	理事役	大波 敏弘
常務理事役(編集長)	新開 仁司	理事役	峰 圭三
理事役	五島 浩司	理事役(会計)	吉田 巖
理事役	角館 満弘	理事役(防災主)	山田 勝規
理事役	金子 由成	理事役(防災副)	岩澤 亨
理事役	葛城 信次	理事役	室園 信宏
理事役	清越 正信	理事役	海野 修作
理事役	岩淵 修	理事役	眞鍋 浩司
理事役	小磯 静雄	理事役	佐々木輝幸
理事役	樋田 昭文	理事役	前田 文典
監事役	大津 雅紀		
監事役	光石 眞通		

★:新任

私のもう一つの東京2020オリンピック

陸自OB 田原昭彦

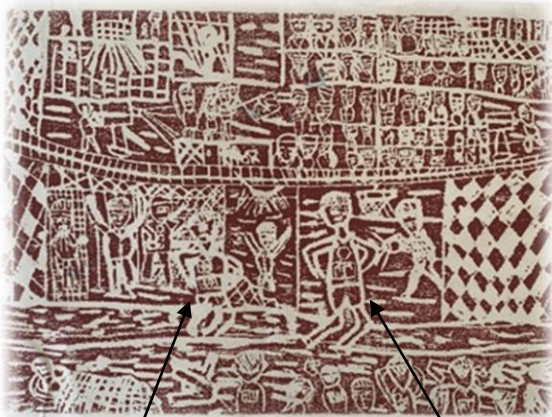
コロナ禍での開催に賛否両論のあった第32回オリンピック競技大会(以下、「東京2020オリンピック」)は、2021年(令和3年)8月8日に閉幕しました。アスリートによる国の名誉と自身の栄光をかけた白熱の戦いは多くの国民に感動を与えました。この間、新型コロナウイルス感染症の陽性者は増え続けました。オリンピックを本当にやっつて良かったのか。その評価は後世がすることでしょうが、復興五輪とは言い難く、また、人類が新型コロナウイルス感染症に打ち勝ち、世界中がその絆を強めた証となったとも言え切れません。そんな中でも、私は、数々の高鳴る感動を覚え、「平和の祭典」が困難を克服して日

本で開催できたことを本当に良かったと素直に思うのです。そしてそこに、私は、私なりの、もう一つの東京2020オリンピックを見つけたのでした。

男子マラソン。今大会限りでの引退を表明してレースに臨んだ大迫傑選手はレース序盤から力強い走りで見頭グループについていきました。30キロ過ぎで、非公認ながら人類で初めて2時間を切った世界最速記録者、二大会連続金メダルを目指すケニアのキプチョゲ選手が前に出て独走します。集団はばらけ、大迫選手は8位で前を追う展開になります。36キロ付近で前の二人を追い抜き順位を6位に上げ、日本人選手トップの2時間10分41秒でゴールしました。金メダルのキプチョゲ選手とは2分3秒差、銅メダルの選手とは41秒差でした。勤務経験のある札幌は、その地にしては暑い夏でした。暑い、しかも高速のマラソン時代に日本人ランナーとして6位入賞を果たした大迫選手の魂の走りに、多くの国民は感染症で閉塞感漂う現実に向か前向きな気持を感じたのではないのでしょうか。

1964年(昭和39年)10月21日、あの日の東京国立競技場でも日の丸を背負い力を振り絞った走りに国民は沸きに沸いていました。エチオピアのアベベ選手が競技場に現れてから約4分後、2位で入ってきたのは、福島県出身の円谷選手でしたが後ろにはイギリスのヒートリー選手が迫り追い抜こうとしています。ついにヒートリー選手はゴール手前約200メートルで円谷選手を追い抜き2位でゴールします。

左の絵は版画です。当時小学3年生の私が彫って刷ったもので、コンクールで特選を頂きました。前を走っているのが円谷選手です。ゼッケンは77ですが何故か逆さになっています(笑)。



ヒートリー選手

円谷選手

日本を応援したい子供からでしょうか、ヒートリー選手の方が背は高いのですが円谷選手の方が高く大きくなっています(笑)。

高度成長の時代、1964年東京オリンピック(第18回オリンピック競技大会)では戦後復興と平和な日本を体現し、そして、国家の威信を高めることは、選手の意志に関わりなく求められたのではないのでしょうか。まじめな人柄、ましてや自衛官である円谷選手の肩にのしかかったものは推し量れないものだったのでしよう。国家・国民が勇気を貰った4年後、銅メダリストの円谷選手は自らの命(1940年〜68年)を絶ちます。久留米市前ヶ原にある陸上自衛隊幹部候補生学校には、1955年(昭和30年)から続く伝統の高良山登山走がありま

す。標高312メートルの高良山のふもとにある高良大社三の鳥居前のゴールまで、学校から標高差156メートル、5.6キロを一気に駆け上がります。その最高タイムは、円谷幹部候補生の記録、18分09秒(1966年)で、今もその記録は破られていません。この様な登山走は、海・空自衛隊の各種学校にもあると思います。陸上自衛隊の幹部候補生は、男子では30分以内、女子では35分30秒以内が基準と聞きますが、これに到達しなければ、在校中に再挑戦することになります。

あの銅メダリストが走った高良山を12年後の1978年(昭和53年)、私は、何も背負うものがないのに26分近くもかかって走るようになりますが、版画に描いた円谷選手と同じ自衛官としての険しい山道をその後も走り続けることになりました。 つづく

敗戦・そして引揚げ・帰国

海自OB 野口淳

前号から続く

天津市から漕沽港へ

朝九時頃だったであろうか、集合命令があり各梯団ごとに、今度は無蓋貨物列車に乗車して漕沽に向かった。

漕沽港は、白河の河口に臨み、渤海湾に通ずる港で、我々が乗船する予定の米海軍のLST(戦車揚陸艦1650 ton)が待っている処である。天津市から漕沽までは、僅か30分程で着くところであるが、例によって

停車、少し動いてはまた停車の繰り返しで一向に進まない。後で聞くとそこによると、随所に中国人兵士が待ち受けていて、列車を止めさせては中を点検すると称して、金品等の賄賂を要求するとの事であり、これまでに再三経験している民団の係員が、かねて用意していた安い時計等を渡して、切り抜けるのだそうである。このようにして30分の処が3時間以上の時間を掛けてやっと到着した。下車してから暫らく待機、少し移動してまた待機と、スムーズな命令のない行動で時間ばかりが経過していった。

やっと最後の移動が始まった。広漠たる原っぱの彼方に埠頭があり、その原っぱの中ごろに大きな倉庫が一棟あって、その中で最後の荷物検査が行われるのである。

砂埃りがもうもうと立ち込める一本の小道を、一列に並んで敗残者と見紛う引揚者の群れが、ぞろぞろと歩いて行く。私も妹を背負い暑い日差しの中、捨てる訳には行かない「ねんねこ」を上には掛けられ、汗びっしょりになって、両手にトランクとポストンバッグを持ち、歯を食いしばって歩いた。見ると、腰に紐を縛り柳行李を引き摺って行く人、胸に子供を縛り付け大きなリュックサックを背負い、よろけながら歩く婦人も見られた。

やっこの思いで荷物検査所の建物に入ると、人が1人通れる程の入口が3か所あり、中に検査官(国府軍の兵隊)が1人ずつ立っている。恐る恐る進んで、検査官の前にある畳2畳程の大き

な台の上に、事前に言われて用意していた布団カバーや、敷布、毛布を広げ、リュックやトランクを逆さまにして中身を全部出して広げる。検査官が、シヤツを振るい洋服のポケットを探り、持ちだし禁止品があれば台の下の箱の中に抛り込む。時折り、検査官が自分のポケットに、幾つかの品を蔵い込んだりしても、抗議することも適わず、黙って早く通過出来ることを願うのみであった。この時に、後ろ盾になる強い軍隊が無い国の悲哀を初めて感じた。

各台に日本兵が手助け要員として2、3人付いて居り、品物をぶちまけてある敷布類を抱えて、建物の外の台上に運んでくれた。急いでこれを元のトランク等に、詰め込まなければならぬ。遅れると後から検査終了の人の物と、ごちゃごちゃになってしまふ。この事は、前以て注意されていたので、手早くリュックやトランクに詰め込む練習を繰り返していたのだが、いざその場になるとうまくいかないものである。

背中では、妹がねんねこを被せているので蒸し暑いのだろうか、泣きぐずる。焦りに焦ったが、兵隊さんの手助けを得てやっとなまった。辺りには、納まらないため残された品物が、おびただしく散乱していた。「この傘上等だから持つて行きなさい」と兵隊さんが勧めてくれるのだが、両手は塞がって持つ余裕も無く「もうこれ以上持てません」と断った場面が思い出される。此処から約100m先にある貨物列車

の待つ駅まで、最後の行軍が待っている。これがきつかった、喘ぎ喘ぎのろろと前進する。やっとな貨車に乗り込み、約20分後に埠頭に着くことが出来た。

待望の乗艦

埠頭には米軍のLST(戦車揚陸艦)が、幾隻も並んで係留されていた。余談であるが、私がこのLSTより一回り小さいLSM(日本に最初に貸与された揚陸艦)の乗員に発令される寸前に、別の部署に異動発令となったので、乗ることが出来なかつたことがあり、奇しき縁に感慨無量であった。

元に戻して、此処の埠頭で最後の人員点呼をした後、艦に乗り込むのであるが、これからは緊張する場面遭遇することになる。それは、中華民国を含む連合国から指名手配された、日本人戦犯の搜索、逮捕である。戦犯に指名された軍人が民間人に、また民間人戦犯とされた方は名前を変えて乗艦し、何とかして帰国したいのだが、監視人も多く艦のタラップ迄、何とか行きつけるかが鍵で、艦を目前にして逮捕、拘引されて行った方が若干居られ、同胞としては実に気の毒な事で、辛い思いを抱かされた。

LSTの甲板に上がるタラップは急勾配であり、これ迄は手に余る荷物でも、平地であった為、何とか運べたが、この急勾配のタラップは、地獄の試練である。タラップに足を掛ける瞬間、「あゝこれで中国とはお

別れだな」の思いがよぎり、「さようなら」の言葉が口を衝いて出て、大地から離れた。最後の力を振り絞って重い足を引き摺り、背中の妹と、両手には荷物を持つている為、肘と脇腹で手すりのロープを挟みながら、前傾姿勢を保ちこれを一段一段上がる。これは、今一度やれと言われても二度とは出来ない芸当である。上からは日本の乗組員の方々が、「もう少しだ！がんばれ！」と励ましの声を掛けてくれる。やっとな甲板に引き揚げられ、「ご苦労さん！がんばったね！」の言葉を掛けられた時の感激！「もう艦に乗ってしまったから、これで日本に帰れる」との安堵感で、不覚にも涙がこぼれた。この時の感激の瞬間を忘れる事が出来ない。

デッキから埠頭を見下ろすと、沢山の引揚者の群れが、ひしめき合っているのが見られた。私達一家は、艦内の物品倉庫と思われる狭い一区画に、他の5、6世帯と一緒に割り当てられた。荷物を下ろし、背負っていた妹を母に渡し、兄と二人で甲板に出て、大陸との別れをするべく出港を待った。天津の貨物廠を朝出発したのに、もう

**心に残る
楽しい旅を
クリエイトする**

株 公マシーリスト舎

横浜市南区永田北 2-5-7
代表取締役 川越直司
☎・FAX 045-715-1024

夕暮れの日差しに変わっている。艦が岸壁を離れたのは、黄昏の色が滲み始めた頃であった。甲板には別れを惜しむ人々で一杯であり、中国大陸がだんだんぼやけて行き、視野から隠れてしまふまで、甲板に立ちすくんで、大人も子供も皆涙を流し泣いていたが、それぞれ大陸での思いが去来して、万感胸に迫り感慨無量だったのだろう。

艦内に戻ると、大きいLSTの空間という空間は、すべて人と荷物で埋め尽くされており、喧噪な上に人いきれでむせ返すようであった。どうにか横になれるスペースを、確保して貰う事が出来た。艦内を探検して回ろうにも、人と荷物で通路も塞がれており、以後の楽しみは食事だけである。アルミのばっかん(手の付いた長方形の大きな入れ物)に、ご飯や汁物、お菜を入れて、乗組員の方が運んで下さり、麦飯ではあったが美味しく頂けた。

艦は渤海湾から黄海に出て、玄界灘を指して進んだが、多くの人が船酔いに苦しみ、その吐瀉物による醜態が甲板で潮風を吸いながら、大陸育ちの身には海が珍しく飽かず波濤を眺めていた。二晩を艦内で過ごし3日目の早暁、故国日本の陸地が遙かに望まれ艦内は歓喜の渦に包まれた。艦は佐世保港に入って行ったが、湾内には沈没した船が数隻艦首だけを海面に出しており、60度傾いたマストが、海面を叩いている光景が、早朝の入港の所為か霧の中で不気味に映り、声も出さず息を呑んで見守った。日本の敗戦とい

う現実を、初めてこの眼で見て、得心した一幕であった。他の艦では、艦内で伝染病患者が発生したとかで、上陸を延期され、湾内で2、3泊させられる処もあったようだが、幸い私達の艦ではそれも無く、無事上陸出来ることになった。

晴れて日本の土を踏む

日本上陸の第一歩は、浦頭埠頭の棧橋であった。ラツタルを降り切って、日本の地の第一歩を記し棧橋を渡り切った処に、検疫所の天幕が張られており、一列に並んで入ると米兵が1人待ち受けていて、まず頭に、次に両手を水平に上げさせ両袖からと、ズボンの中まで真っ白になるほど、消毒剤を散布された。この白い粉が、DDTだと知ったのは後のことである。この後、トラックに乗り引揚者の宿舎となっている、元海軍の針尾海兵団が使用していた建物内の、佐世保引揚援護局に着いた。此処は、これ迄の収容所と違つて、広い板の間に莫産が敷かれ、息抜きが出来る広間であった。一息入れてから順々に受付が始まり、まず入国の手続きをして、次に引揚証明書を貰い、さらにこれから帰る目的の地までの無料切符を貰い、次に証紙を貼った紙幣を受け取るのである。一番肝心な引揚者生活援助資金は、赤子も成人も等しく、一人千円と決められていた。我が家は、赤子の隆子を入れて6人家族であるから、六千円を受け取ったのであるが、これから日本での生活は、この六千円だけが頼りなのである。引揚者達は、この宿舎に一泊して翌朝そ

皆さんの、ご夫婦で同じ趣味等をお持ちでしょうか。かく言う私は定年を前にして、退職後夫婦で何か共通の趣味や話題があるかなと考えてみると温泉旅行位しか思いつかない状態でした。そんなある日、妻がシヌノーケルをやりたい、きれいな魚を見たいと言いました。彼女は、バブル期に旅行会社に勤務しており、以前は、ダイビングもやったことが



それぞれの目的地向かって、南風崎(はえのさき)駅から汽車に乗るのである。これからの日本での生活がどうなるのか、不安の中にも明るい希望が湧いてくる、日本での第一夜であった。時に、昭和21年4月 12歳の春であった。 終わり

海中散歩はいかがですか
海自OB 吉田 巖

不動産の管理・仲介・売買

不動産のことなら

(株) 山野井

営業時間 AM9:00~PM7:00 定休日:水曜日

□本社・タウンサイト店
〒233-0002 横浜市港南区上大岡西 1-13-23
TEL.045-843-2882・5700/FAX.045-845-0550

ゆめおおおか店
〒233-0002 横浜市港南区上大岡西 1-6-1
TEL.045-845-1818/FAX.045-845-1813

□屏風ヶ浦店
〒235-0023 横浜市磯子区森 3-18-5
TEL.045-751-4191/FAX.045-751-4114

飲んで歌って踊れる店

やかた 有限会社 **館グループ**

スタッククラウン
洪福寺店 ☎045(316)2025

ミュージックパフ
館(やかた)本店 ☎045(313)1289

あると話していました。そういえば、押し入れに古いウエットスーツが大事にしまっていました。さて、シュノーケル位なら海上自衛官たる自分には大したことはないと思います、沖繩慶良間諸島を皮切りに二回ほど沖繩に行き夫婦で水遊びのようなものを始めました。マスクとシュノーケル、フィンそれにライフジャケットをレンタルして海面から水中を覗き熱帯魚やサンゴを見ていただけでも楽しいものでした。現役最後に訪れたのは平成22年のテニヤン島でした。上司に海外渡航申請を申し出ると「テニヤン？何しに行くんだ。」と質問され、「はい、海でシュノーケルしてきます。」と答えたところ少し怪訝な顔をされながらも許可をもらったことがあります。

さて、テニヤン島ですが皆さんご存知の通り、原爆を搭載したB-29が広島・長崎を目指して飛び立った所です。テニヤン島へ行くにはサイパン島まで行き、空港から小型機に乗り換えて10分ほどで到着します。テニヤン空港はローカルの空港でのんびりムードが漂っていました。しかし、空港ロビーには、島から米国軍人として現在従軍している若者の写真が数枚掲示してあり、島民が彼らの無事な帰還を願っているのがうかがえ、日本との違いを感じてしまいました。島ではシュノーケルを楽しむだけでなく、日本人として大東亜戦争の戦跡を訪問し英霊に感謝の思いを奉げることとしました。しかし、自分らだけで戦跡を巡ることは大変なため戦跡ツアーがあったのでそれに参加することにしました。島の北部には、B-29のための3,000メート

ル滑走路（実際は2,600メートル程）4本が草生した状態で残っており、その北側に原爆をB-29に搭載した跡に記念碑が建てられています。

海上自衛隊を退職後、再就職してからも夫婦でのシュノーケルは続きます。サイパン島、翌年はパラオへとシュノーケルを楽しむとともに。あわせて、戦跡訪問もサイパン島、ペリリュー島（パラオの中心の島からボートで1時間半ほど）と続きました。海は美しく、多くの魚が私たちを迎えてくれました。また、私たちが参加した戦跡ツアーには、年配の方ばかりでなく比較的若い人も混ざっていました。戦跡ツアー参加者は最初のうちは旅行者感覚で見学していましたが、そのうちに真剣な眼差しで戦跡を見つめるようになり、ガイドの話にも注意を払うようになりました。ツアー参加者は今日の日本の様子を思うと、戦火で命を落とした方々に対し深い哀悼の念を抱くようになったのではと感じました。

さて、パラオでのシュノーケルを楽しむには、ボートでシュノーケルポイントに行くことが必要であることから、初めてシュノーケルのツアーに参加しました。それまでは、行った先の海岸で適当にシュノーケリングを楽しんでいたのですが、パラオに来て初めて本当のシュノーケルの楽しさを味わうことになったのです。そんな時、シュノーケルツアーで海面から海中の魚やサンゴなどを覗いていたとき、海中の岩場に多くの魚が戯れていてその近くに水深20メートル位でしようか多くダイバーがいるのはびっくり水面付近から見ることができました。パラオから帰国後、夫婦で思い出話に更けていると妻からダイビングを始めたいと言ってきました。妻が若いころダイビングの経験があったこ

とから、パラオでのダイバーの姿を見て始める気になったのでしょうか。また、パラオのホテルで見かけた欧米のダイバー達は私達よりも高齢でしたが皆さん元気で楽しそうでした。

しかし、ダイビングを始めるとなるとダイビング機材などに多額の費用がかかることから、無理かなと思いつながらもせめてライセンスでも取るうかということになり、横浜市内で東京沿線に住んでいることから近くでダイビングスクールはないかと探してみると、三浦半島の方にあることを発見。我々夫婦のように当時50代後半の者がダイビングのライセンスを取れるのだろうかという疑問には実際50代半ばでもライセンスを取得していることを教えてもらえました。また、講習期間は3日であり、機材はレンタルできることがわかり、必要なものはライセンス取得後に少しずつそろえればよいとのことでした。そんな訳で、今でもダイビングをする時は、機材は多くをレンタルしています。荷物も少なく済みますし、管理保管の面倒さもありません。

ダイビングを行う上で、ライセンス（民間のもの）は必須のものであり、これがあれば、どのダイビングショップ（ダイビングの機材貸出とガイドをしてくれるところ）でも機材の貸出を受けられることができます。海外のショップでも有効なライセンスです。その中で、最も基本的なものはオープン・ウォーター・ダイバーです。この資格を有していればバダイーとともに最大深度18メートルまで潜ることができず。まずはこのライセンスを取得しな

隊友会を応援します！

 **光洋システム株式会社**

***事業内容**

- ・ITソリューション システム事業
- ・アプリケーション システム開発事業
- ・組み込みシステム開発事業

代表取締役社長： 兼俣 和夫

◎所在地
〒220-0004
横浜市西区北幸2-15 東武横浜第2ビル
URL ht t p: www. koyo- syst em. co. j p
TEL. 045- 313- 3393

造園・緑化

株式会社 **濱田園**

代表取締役 **栗飯原 吉伸**

〒232-0066 横浜市南区六ッ川3-3-1
☎ : 045 (741) 3215 FAX : 045 (741) 3464

ければなりません。取得するには、テキストとビデオを事前に学んでおくこととともに、3日間で潜水機材の操法、プールでの実習、浅い海での実習を受けなければなりません。テキストとビデオの学習では、インストラクターから内容について質問されるのでしっかりと覚えておかなければなりません。実習は体力的には、特別きついものではなく泳げれば問題ありません。(ダイビングスクールでは泳げなくても大丈夫とうたってはいますが、泳げるに越したことはありません)初めて水中でタンクから空気を吸った時は不思議な感じでした。陸上ではダイビング機材を背負うと20kg位ありますが、適切な水中浮力を持つと水中での重さを感じません。ダイビングは特別な体験を味わえるものですが、誤ったことをすると生命にかかわることもあります。これはダイビングだけに当てはまることではありませんが、ライセンス取得の講習はもちろんのこと、普段でも疑問や不安があればインストラクターに尋ねることがです。体調に不安があればダイビングを中止する勇気が必要です。海上自衛隊では、潜水資格はたった3日で取得できるはずもなく、ダイビングスクールでは決して無理をせずにダイビングを楽しもうという気持ちでライセンス取得に臨むことにしました。そして、3日間でライセンスを取得しました。講習料金は約五万円位です。少し贅沢な気もしましたが・・・

オーブン・ウオーター・ダイバーのライセンスを取得してしばらくすると、もう少し深く潜ってみようという気になります。それをかなえてくれるのが、アドバンスド・オーブン・ウオーター・ダイバーです。レクリエーションのダイビング深度として水深30メートルまでが推奨されています。2日間の講習が必要であり、取得は比較的容易でしたが、常に基本を忘れることなくダイビングを体験しなければならぬ講習でした。講習料金4万円台です。

私達夫婦の普段のダイビングは、伊豆半島の東海岸で行っています。伊豆には多くのダイビングショップがあり、横浜の自宅から日帰りできるところを選んでいきます。特に富戸(城ヶ崎海岸の近辺)が気に入っており、そこには、温泉施設があり、ダイビング後からだを休めることができます。通常は一日2回(使うタンクの数は2本)の潜水を行っていますが、潜水時は、ガイド付きで必ず数名のグループでバディの形をとって行動します。私達夫婦は常にバディとなっていていきます。潜水時間は水深にもよりますが概ね40分、水深は海中で出会う生物にもよりますが10〜30メートルでしょうか。潜水時間は、グループで空気の使用量の一番多い人に合わせてくれるので、常にガイドに知らせることが必要であり、結局私の空気使用量(空気残量)に合わせてグループ全体が潜水することになってしまいます。

ダイビング中は、何をしているかというところももちろん海中生物を観察し写真撮影をしたり、海中の地形を楽しんでいます。多くのダイバーは、ウミウシなど小型の生物にも関心を示してカメラ撮影をしています。私達夫婦は、比較的大型の生物に興味を持っていて、水中写真よりも水中での動画撮影をして楽しんでいます。

ダイビングを始めて7年目に入り、約100回(タンクの数は100本)程の潜水経験を積むことができました。伊豆方面を主に、沖縄、パラオ、セブ島と楽しんできましたが、最近では、コロナの影響でここ2年間ほとんどダイビングができていません。ダイビングは、決して安い趣味ではありませんが、冒険心に富んだ活動だと思っています。コロナ感染が終結し再開できる日を待ち望んでいます。皆さんもよろしければ、シュノーケルやダイビングなどの海中散歩を楽しみましょういかがですか。

肉体と精神の健康
海自OB 大津 雅紀

昨年夏の東京オリンピック2020に引き続き、北京2022冬、季オリンピックでも日本選手団の活躍これあり、コロナ感染症蔓延の憂鬱も押し退け、期間中数多くのドラマに手に汗握り一喜一憂する毎日を送ることが出来ました。

同時に、不可解な判定や採点、誤審、ドーピング対応、政治的演出等に対する否定的意見も多方面から出されています。国家の思惑や商業主義に翻弄されていることもまた事実だと思えます。しかし総括すれば、これらの事象も現実世界では受容すべき範囲内かと自分自身を納得させつつ観戦できたと思っています。

そんなことよりも寧ろ、このような問題ばかりを声高に取上げて非難に執心する一部の国や大方のマスコミ

の雑音に惑わされず、正々堂々と競技に参加し、積み重ねた努力の成果を発揮して躍動する日本選手の姿には純粋に感動しました。特に競技後のインタビューや会見ではどの日本選手も例外なく素晴らしい人間性が現れ、同じ日本人として誇らしい限りです。

近代オリンピックの父と呼ばれるクーベルタン男爵の言葉として有名な「オリンピックで重要なことは、勝つことではなく参加することである」は、実は彼の創作ではなかったと今回のオリンピック中に知りました。英米両チームのあからさまな対立により険悪なムードだったロンドン大会(1908年)中の日曜日、礼拝のためにセントポール大寺院に集まった選手を前に主教が述べた戒めの言葉だったそう、JOCホームページに次のように解説されています。

『オリンピックの理想は人間を作ること、つまり参加までの過程が大事であり、オリンピックに参加することは人と付き合うこと、すなわち世界平和の意味を含んでいる』と考えていたクーベルタンはこの言葉に感動し、英政府主催の晩餐会でこの言葉を引用して『人生にとって大切なことは成功することではなく努力すること』という趣旨のスピーチを行いました。以後、オリンピックの理想を表現する名句として知られるようになりました。』

参加することの意義とは、勝つための正しい努力を日々続けることだと思いは知らされます。そして正しい努力においては肉体面と精神面の均衡がいかに重要であるか。選手たちの努力と並べるこ

と自体おこがましいことですが、前期高齢者の仲間入りをした我が身にも大いなる刺激です。

肉体と精神の関係と言えば、「健全な精神は健全な肉体に宿る」という言葉を子供時代に学校の先生からよく聞かされた思い出があります。近頃はあまり聞くことがないような気がしますが、「健全な肉体でない健全な精神は宿らない」(健康でない人は精神も健全でない)とも換言(解釈)され易く、現代の世論にもそぐわないからかと思っていました。ところが元々は違う表現だそうで、古代ローマの詩人ユウェナリスが著作『風刺詩集』の中で「祈るなら、健全な身体に健全な精神があるように祈るべきだろう」と書いた句を後にイギリスのJ. ロックが省略して引用し、日本でも明治30年前後から「健全な精神は健全な肉体に宿る」という成句となって知られたというのが本筋のようです。

「健全な肉体と精神が両方備わっていればいいのになあ」という願望ならば、我が身でも努力出来るかもしれない。そんなことを考えていたら、遙か二十年以上前の現役時代、「君たちもそのうち分かる」と日本海軍の先輩から頂戴した「老人五省」を思い出しました。曰く、

- 一 姿勢に曲りなかりしか
- 一 言語にもつれなかりしか
- 一 記憶にボケのなかりしか
- 一 動悸に乱れなかりしか
- 一 頑固に亘るなかりしか

近頃は「努力」とか「継続」といった言葉とは縁遠い日々ですが、先ずは心身ともに年相応に健全たるべく、できることを自然体で続けて行きたいと思えます。

北京冬季オリンピック観戦後記でした。

神奈川地本便り

隊友会横浜南支部の皆様並びに「隊友よこはま南」をご愛読の皆様、平素は自衛隊神奈川地方協力本部に対しご支援ご協力賜り誠にありがとうございます。特に「予備自衛官等に関する支援」については、隊友会の一事業として掲げられており、予備自衛官訓練等ではたいへんご支援いただいております。今回は「予備自衛官等制度」について、ご紹介させていただきます。

「予備自衛官等制度」には「予備自衛官」「即応予備自衛官」「予備自衛官補」の三種類があります。「予備自衛官」は、年間五日間の訓練に参加、いざという時は後方支援等の任務に就いていただきます。「即応予備自衛官」は年間三〇日間の訓練に参加、いざという時は第一線部隊とともに任務に就いていただきます。「予備自衛官補」は自衛官未経験の方に予備自衛官になつていただくための制度で、採用区分に応じた定の教育訓練を修了した方を予備自衛官として任用するものです。

なお、予備自衛官、即応予備自衛官を雇用する企業様にもメリットがあります。予備自衛官等の雇用を通じ社会貢献をしていることを防衛省が認定す

る制度や、即応予備自衛官を雇用し訓練への参加に協力いただけただけの企業様を対象とした給付金制度などがあります。

神奈川地方協力本部では「予備自衛官」「即応予備自衛官」は年間を通じて、「予備自衛官補」については四月八日まで(必着)募集しております。本紙をご愛読の皆様、お知り合の方等で予備自衛官等制度に関心をお持ちの方がいらつしやいましたら、神奈川地本予備自衛官課までご連絡いただけると幸いです。

また、神奈川地方協力本部では、ホームページ、ツイッター、インスタグラムでもさまざまな情報を発信しております。ぜひ一度ご覧いただくとともに、お知り合いの方にご紹介ください。よろしく願います。

予備自衛官課 課長 鷲尾 則子



5日間訓練に参加する予備自衛官



事務局便り

1. 会員情報(敬称略)

(1) 新入会員(氏名・出身・区)

- 永田 哲郎 海 港南
- 島津 隆好 陸 港南
- 木村 太郎 陸 南

(2) 訃報(氏名・享年・出身・区・逝去)

- 栗原 仁 97 海 港南 3.7
- 中村 勝政 91 陸 戸塚 3.12
- 吉川 尚文 87 陸 港南 4.2

2. 連絡事項

各種情報が神奈川県隊友会のホームページから発信されています。ご利用下さい。また、メールアドレスを連絡頂いた方に、支部からも各種情報をアナウンスしています。支部からは、携帯のメールアドレスを考慮して内容をコンパクトにして送信しています。メールアドレスをお持ちの方は、是非、事務局 subsontor2@yahoo.co.jp までご連絡下さい。

何らかの障害で、以前は来ていたのに最近届いてないという方もあると思います。そのような場合は、恐れ入りますが前記アドレスまでご連絡をお願い致します。

編集後記

この「隊友よこはま南」は、会員皆様のご協力があったるの機関紙です。一言いたい、雑感等、思う事がありましたら、投稿をお待ちしております。

編集子

